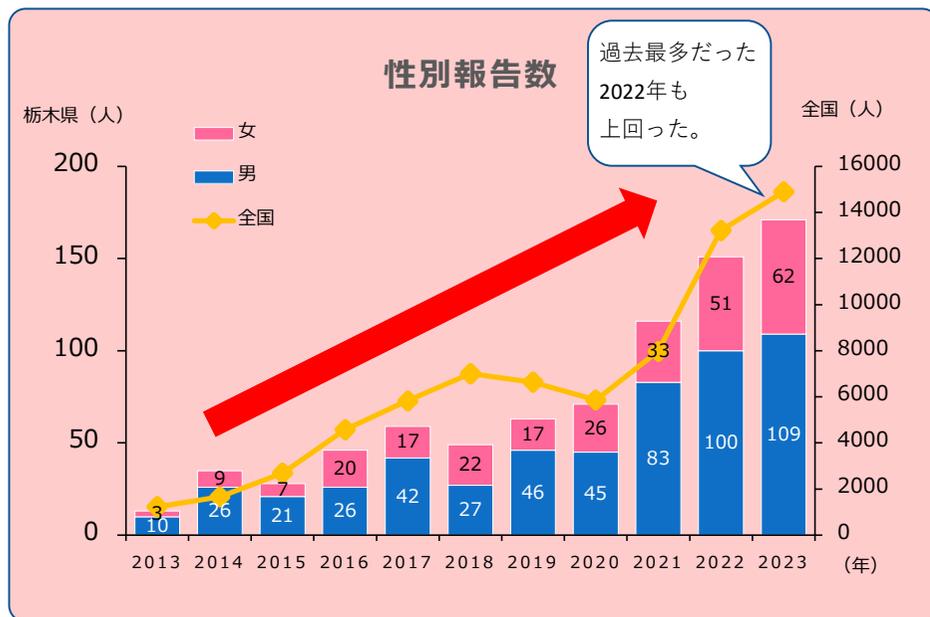


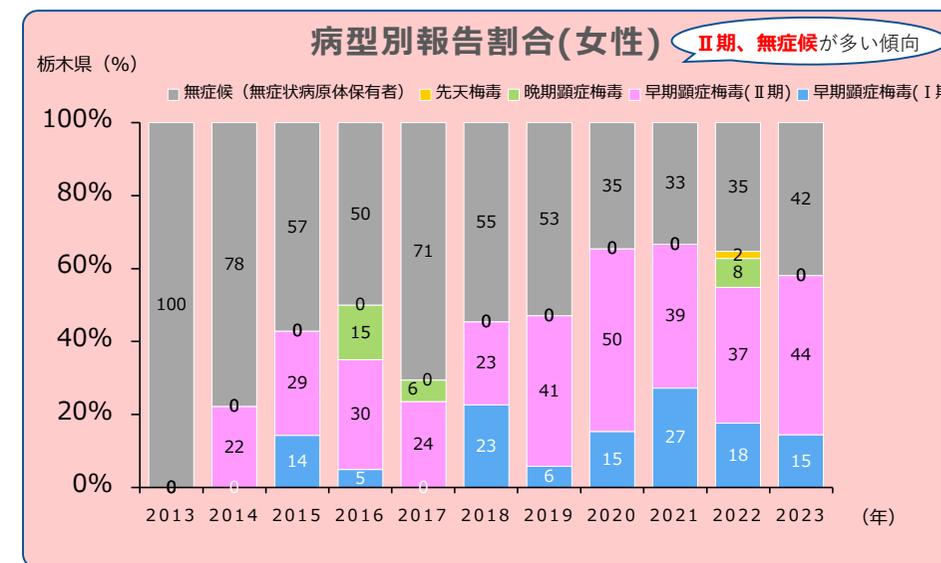
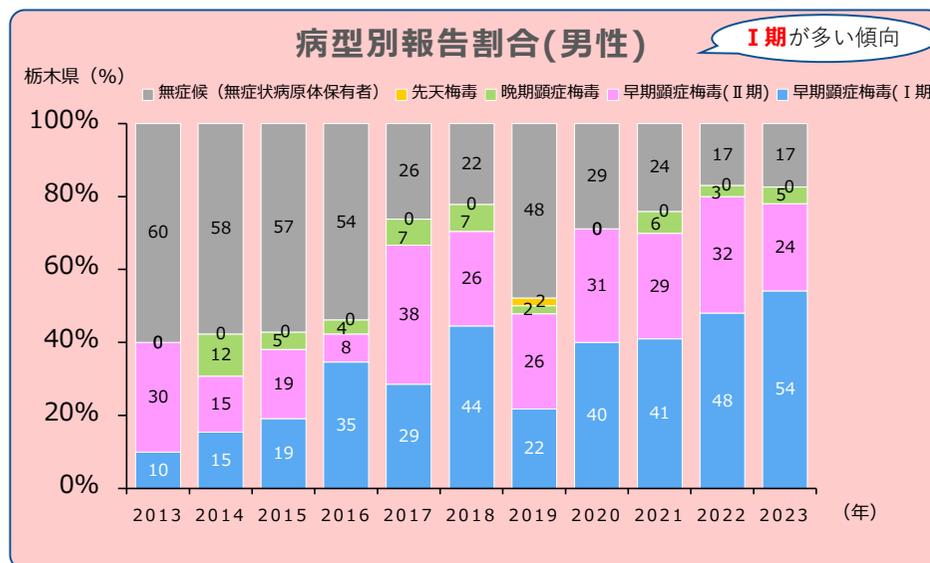
栃木県内 梅毒 発生状況

作成者：栃木県感染症情報センター

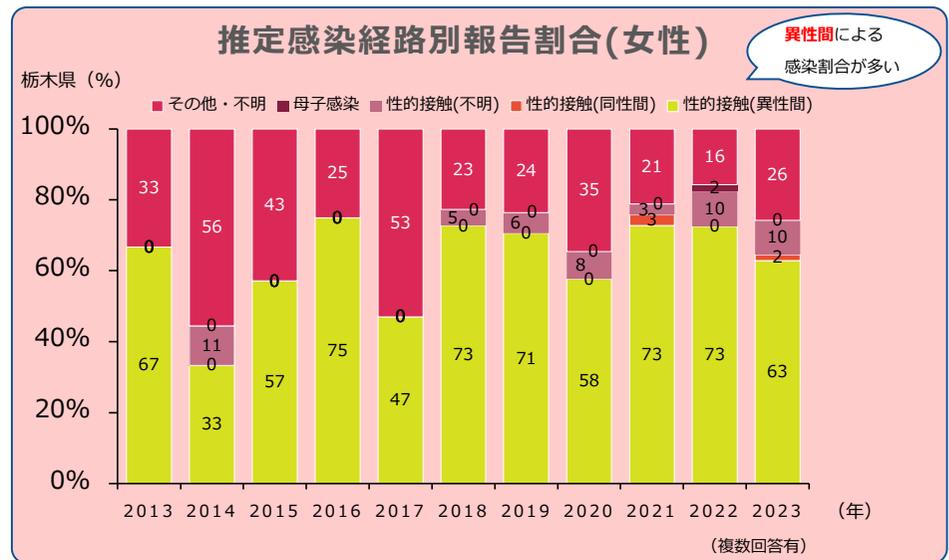
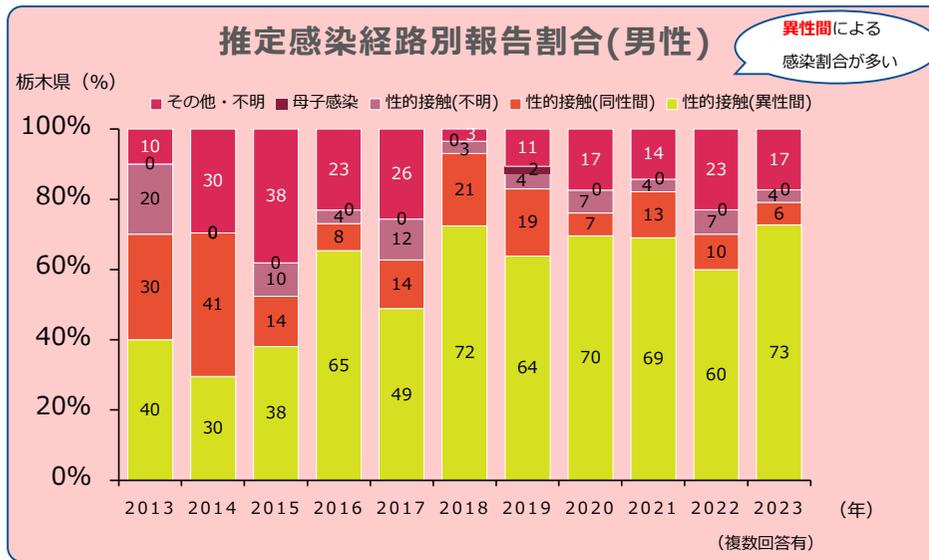
集計日：2024/1/30



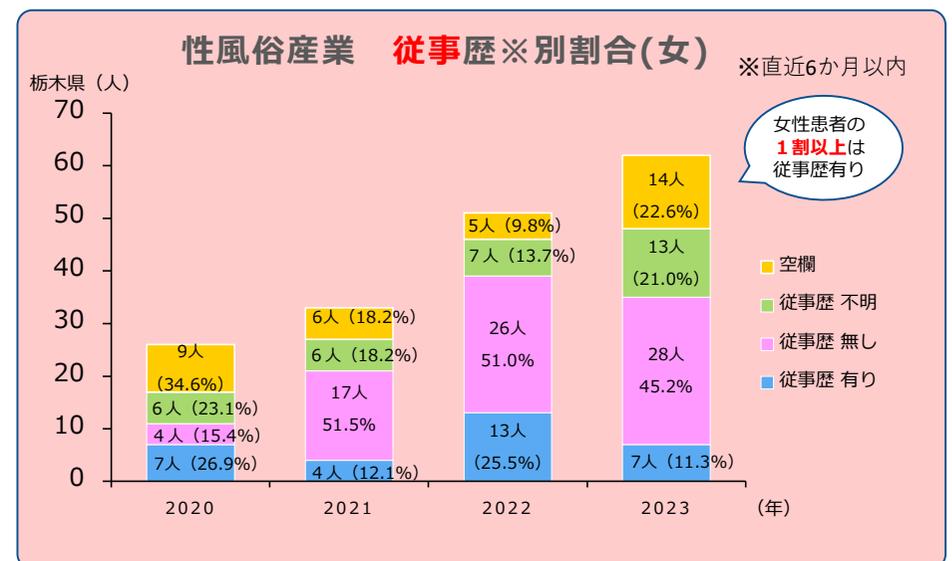
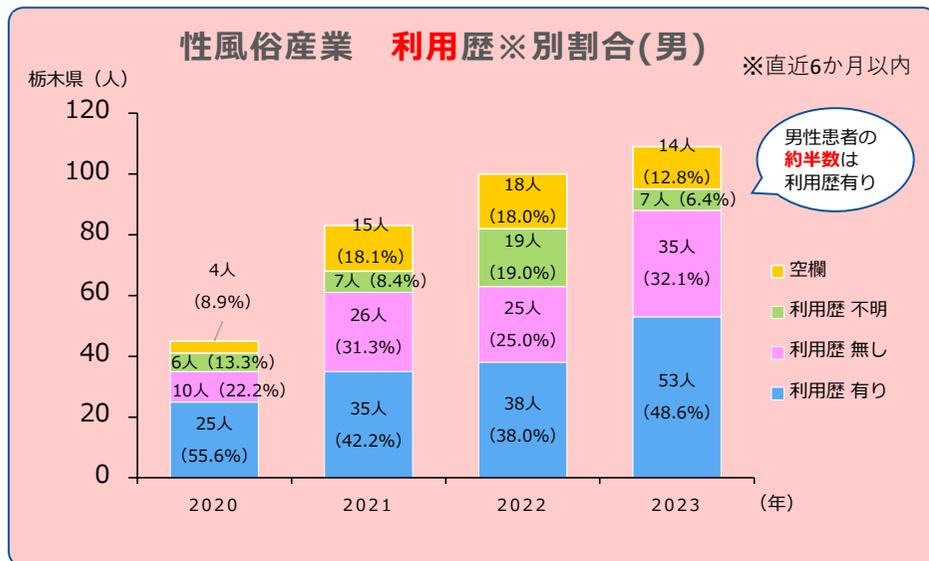
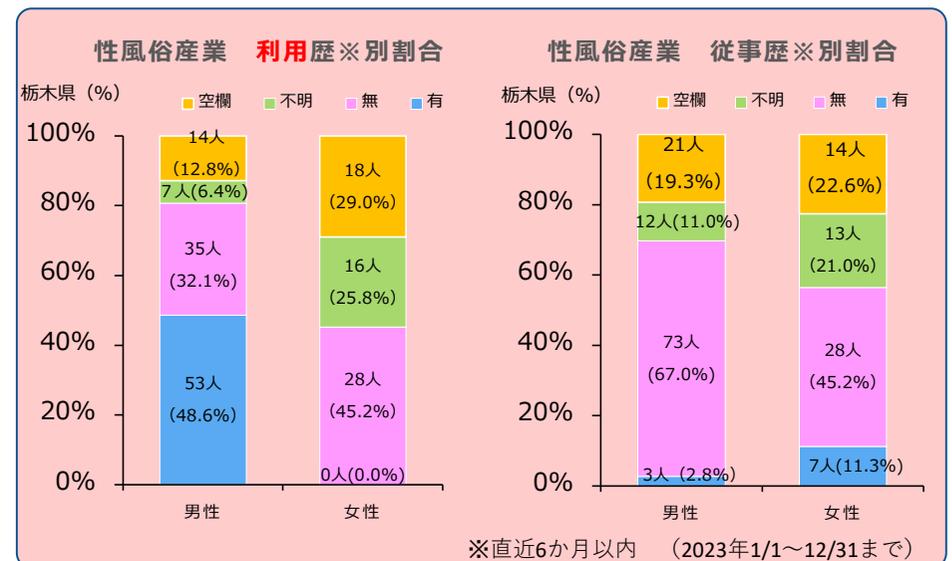
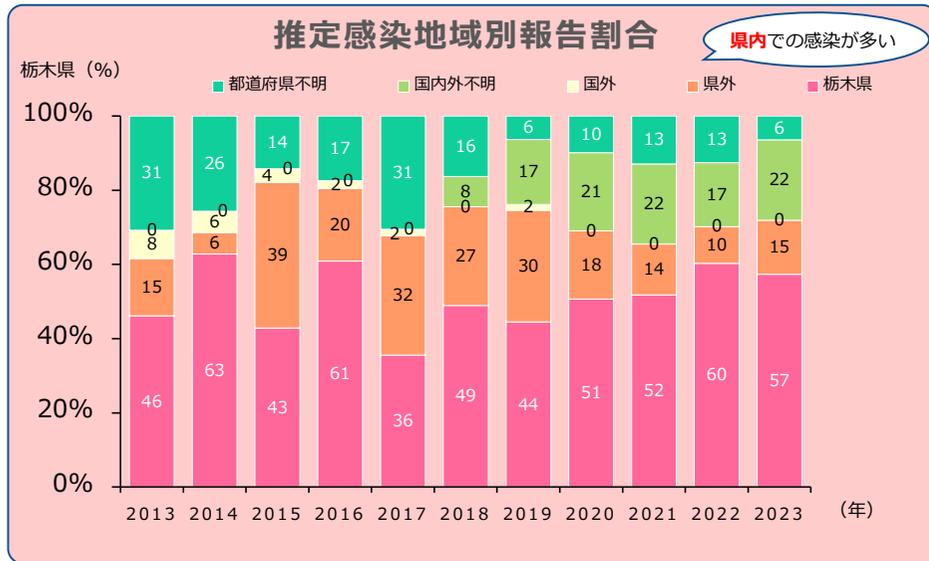
- ・全国的に梅毒が増加しており、2023年本県においては171件と過去最多を記録しました。
- ・病型別では、男性はI期の割合が増加傾向にあり、女性は無症候及びII期の割合が増加傾向にあります。2019年と2022年に各1例ずつ、先天梅毒の報告がありました。
- ・年代別では、男性は幅広い年代で満遍なく多いのに対し、女性は20歳代及び40歳代の割合が多い傾向にあります。
- ・推定感染経路は、男性、女性ともに異性間の性的接触の割合が高いです。
- ・推定感染地域は、約半数が栃木県内での感染であり、本県において感染が確実に広がっていると考えられます。
- ・2023年に報告のあった患者のうち、性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）は、男性の48.6%（53人）が有りでしたが、女性からの報告はありませんでした。従事歴（直近6か月以内）は、男性の2.8%（3人）、女性の11.3%（7人）が有りでした。



栃木県内 梅毒 発生状況

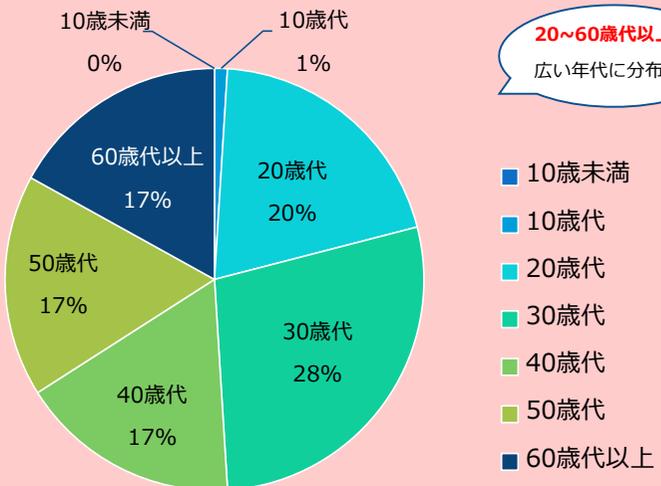


栃木県内 梅毒 発生状況

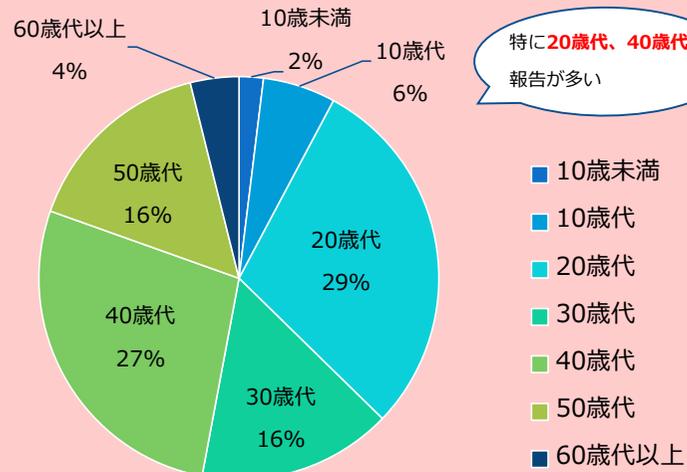


栃木県内 梅毒 発生状況

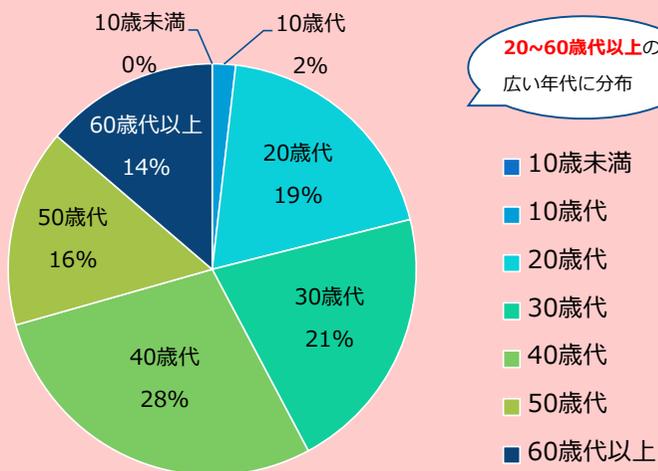
年代別報告割合(男性) (2022年)



年代別報告割合(女性) (2022年)



年代別報告割合(男性) (2023年)



年代別報告割合(女性) (2023年)

